

目標達成計画

作成日: 2019年 12月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	避難訓練は定期的実施できており、水害を想定した訓練まで実施できている。しかし、水害想定の本格的な訓練と避難済みの居室の工夫、外部の救命人員にも各居室の利用者の状態が分かる表示や避難の有無など一目でわかる工夫が望まれる。	災害訓練が実践的内容になるように見直し、避難誘導時に外部の救命人員にも利用者の情報が即座に伝達しやすい工夫を行う。	・水害を想定した訓練を雨量や水位まで具体的な内容で設定して、実施する。 ・避難時などに消防署などの外部の人に利用者の障害や特徴などの情報が即座にわかるファイルを作成する。	12ヶ月
2	26	個人記録表は改善され、介護計画が個人記録用紙にも印刷されているが、実際に処遇する職員の記録内容が計画に連動したものでないので、正確なモニタリングに繋がっていない。	モニタリングの際にしっかりと評価ができるように個人記録表の記録の仕方を見直し、介護計画と連動した記録に統一していく。	・個人記録表を再度見直し、計画を日々の支援で評価できるように工夫することで、モニタリングの際に正確な計画見直しに繋げていく。	6ヶ月
3	35	本人の意向の把握は会話や表情、家族や知人からの情報で収集したり、入所後に施設生活の中で新たに収集できている。ただ、その得た情報の記録が複数に分散しており、今後はその記録が職員誰でもわかるように検討・工夫が望まれる。	日々の支援の中から表出した本人の意向が介護計画にしっかりと反映できるように、記録様式を統一し、誰でも情報がわかるようにする。	・各利用者のフェースシートに追加の情報を随時記入できるように工夫することで、利用者の意向や生活歴が随時最新の情報で誰でも閲覧できる状態にする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月